



平成 28 年 11 月 2 日

各位

会社名 サトレストランシステムズ株式会社
代表者名 代表取締役執行役員社長 重里 欣孝
(コード番号 8163 東証第 1 部)
問合せ先 取締役執行役員管理本部長 田中 正裕
(TEL 06-7222-3101)

平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と実績値との差異
及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 28 年 5 月 11 日に公表した平成 29 年 3 月期 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日) の第 2 四半期累計期間の予想値と本日公表の平成 29 年 3 月期 2 四半期累計期間の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、通期の業績予想につきましても修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想値と実績値の差異 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

(1) 連結

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (百万円)	1 株当たり 四半期純利益 円 銭
前回発表予想 (A)	20,900	310	330	△20	△0.60
今回実績 (B)	20,291	59	△134	△511	△15.39
増減額 (B-A)	△608	△250	△464	△491	—
増減率 (%)	△2.9	△80.8	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	19,704	504	428	182	5.88

(2) 個別

	売上高 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)	1 株当たり 四半期純利益 円 銭
前回発表予想 (A)	17,100	110	△100	△3.01
今回実績 (B)	16,606	△197	△462	△13.93
増減額 (B-A)	△493	△307	△362	—
増減率 (%)	△2.9	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	16,236	351	212	6.84

2. 平成29年3月期通期業績予想値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(1) 連結

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想 (A)	43,400	850	940	400	12.04
今回発表予想 (B)	44,000	550	300	△300	△9.03
増減額 (B-A)	600	△300	△640	△700	—
増減率 (%)	1.4	△35.3	△68.1	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	40,061	542	361	6	0.21

(2) 個別

	売上高 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想 (A)	35,700	570	260	7.83
今回発表予想 (B)	34,500	140	△240	△7.23
増減額 (B-A)	△1,200	△430	△500	—
増減率 (%)	△3.4	△75.4	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	33,713	159	11	0.35

修正の理由

(1) 第2四半期累計期間業績予想との差異について

第2四半期連結累計期間における売上高につきましては、既存店売上高の計画未達を主な要因とし、前回予想を下回る結果となりました。年明けからの円高進行や株価低迷等の影響による消費マインドの低下により、平成28年4月、5月における主力業態「和食さと」の既存店売上高が前年を4%程度下回るなど第1四半期累計期間の売上高は厳しい状況となりました。第2四半期会計期間は、「和食さと」業態において高付加価値商品の強化を実施するなど各種商品施策に尽力し、売上高は回復傾向となりましたが、第1四半期累計期間の売上高減少分を補うまでには至りませんでした。

営業利益につきましては、既存店売上高の減少影響に加え、平成28年9月1日に実施いたしました株式会社宮本むなし及び株式会社TWO SIXの株式取得に関するアドバイザー費用等112百万円を計上したことなどにより、前回予想を下回る結果となりました。

また、円高による為替差損160百万円を営業外費用として計上したことに加え、海外合弁会社への投資に係る評価損59百万円および2店舗の閉店決議を行ったことによる減損損失を計上したことなどにより、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、前回予想を下回る結果となりました。

(2) 通期業績予想の修正について

下半期においては、グループ各業態での営業施策を着実に実行し、計画通りの収益達成に努めてまいりますが、第2四半期連結累計期間の業績および平成28年9月1日に子会社化した株式会社宮本むなしの業績見込みも加味し、連結および個別通期業績予想につきましても修正いたします。

(注) 本業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上